



小売料金算定の前提となる 電力需要想定について

**2022年12月26日
沖縄電力株式会社**

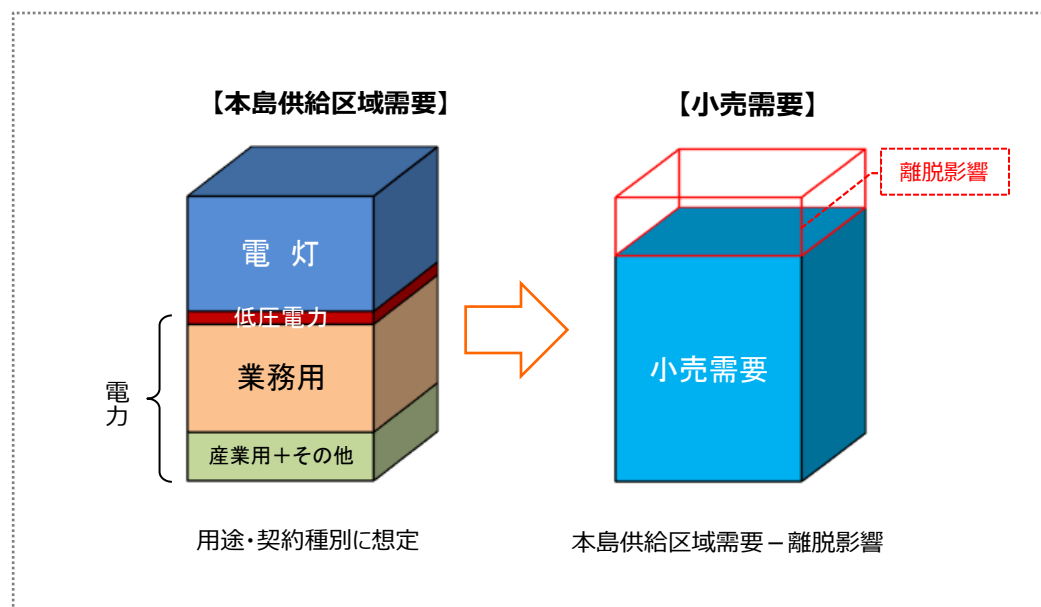
1. 需要想定の方考え方	2
2. 想定結果の概要	3
3 – 1. 用途別電力量の想定（電灯）	4
3 – 2. 用途別電力量の想定（電力）	5
3 – 3. 想定結果（需要電力量）	6
4. 最大電力の想定	7
（参考）新型コロナ影響の想定への反映	8

1. 需要想定の方

- ▶ 小売料金算定の前提となる需要想定は、電力広域的運営推進機関の需要想定要領に基づき作成した2022年度供給計画（小売）における需要想定をもとにしています。
- ▶ 想定手法としては、用途・契種別に、実績傾向や最近の需要動向などを基に、本島の供給区域需要（離脱が無い場合の需要）を想定し、別途想定した離脱影響を差し引いて算出しました。
- ▶ なお、本島供給区域需要の実績は、弊社の需要実績と離脱実績より推計しています。

※当該想定は2021年10月頃に作業しており、2020年度までは実績、2021年度は推定実績となっています。

※新型コロナウイルス感染症（以降、新型コロナ）により電力需要も影響を受けましたが、影響は今後収束し、コロナ以前の実績傾向に戻ることを前提に、2020年度実績と2021年度推定は新型コロナなかりせば（コロナ以前の実績による想定値）を使用して想定しています。

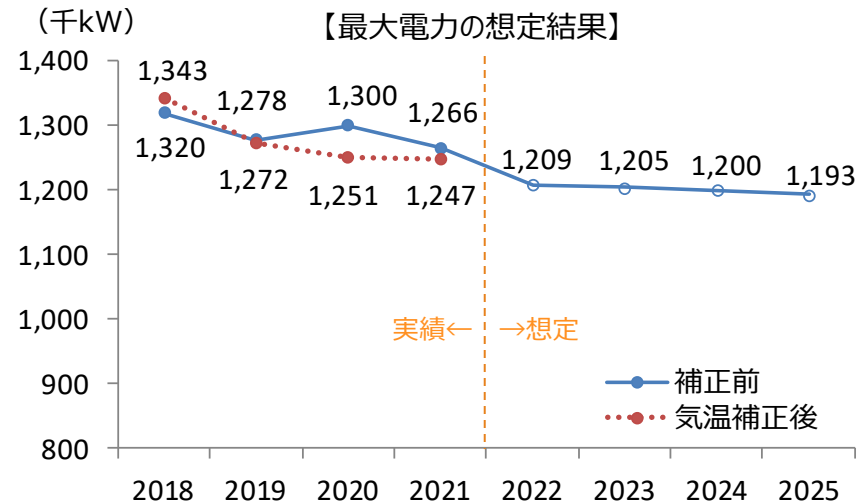
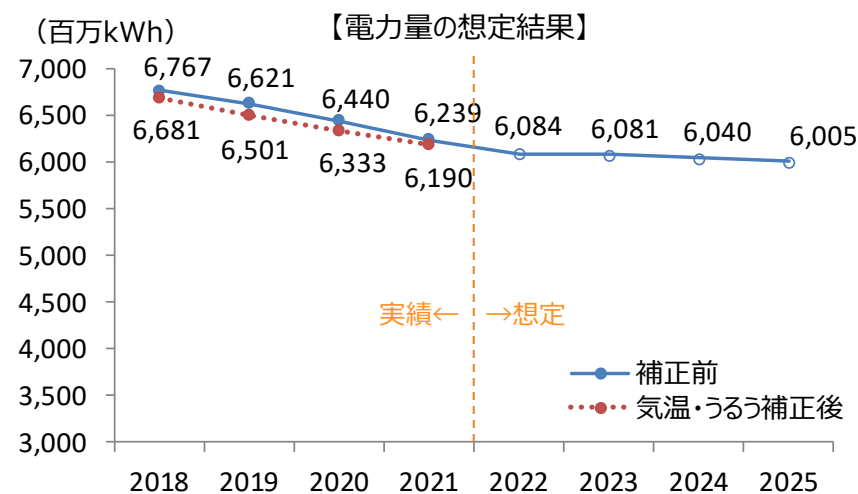


【用途】

電灯			家庭用、街路灯 等
電力	低圧電力		小規模店舗・商店 等
	業務用		商業施設・宿泊施設 等
	産業用	高圧A	工場 等
		大口電力 (高圧B・特高)	大規模工場 等
	その他		深夜電力、農事用電力、臨時電力

2. 想定結果の概要

➤ 2023年～2025年度は、新型コロナの収束を前提に、人口や観光客数の増加を背景とした商業・宿泊施設の増加や食料品製造業の増加が見込まれるものの、他事業者への契約切り替えの影響により、電力量・最大電力ともに緩やかな減少を見込んでいます。



【電力量（使用端）】

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
電灯		▲ 0.8	0.9	▲ 4.3	▲ 4.9	▲ 1.7	▲ 0.1	0.1
	2,671	2,650	2,675	2,559	2,435	2,392	2,391	2,393
電力		▲ 3.0	▲ 5.2	▲ 2.3	▲ 0.8	1.1	▲ 1.1	▲ 1.0
	4,096	3,971	3,766	3,680	3,650	3,689	3,649	3,612
計		▲ 2.2	▲ 2.7	▲ 3.1	▲ 2.5	▲ 0.1	▲ 0.7	▲ 0.6
	6,767	6,621	6,440	6,239	6,084	6,081	6,040	6,005

(百万kWh、%)

23-25平均
0.0
2,392
▲ 1.0
3,650
▲ 0.6
6,042

【最大電力（送電端）】

最大3日平均電力	1,320	▲ 3.2	1.7	▲ 2.6	▲ 4.5	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.6
		1,278	1,300	1,266	1,209	1,205	1,200	1,193

(kW、%)

▲ 0.5
1,199

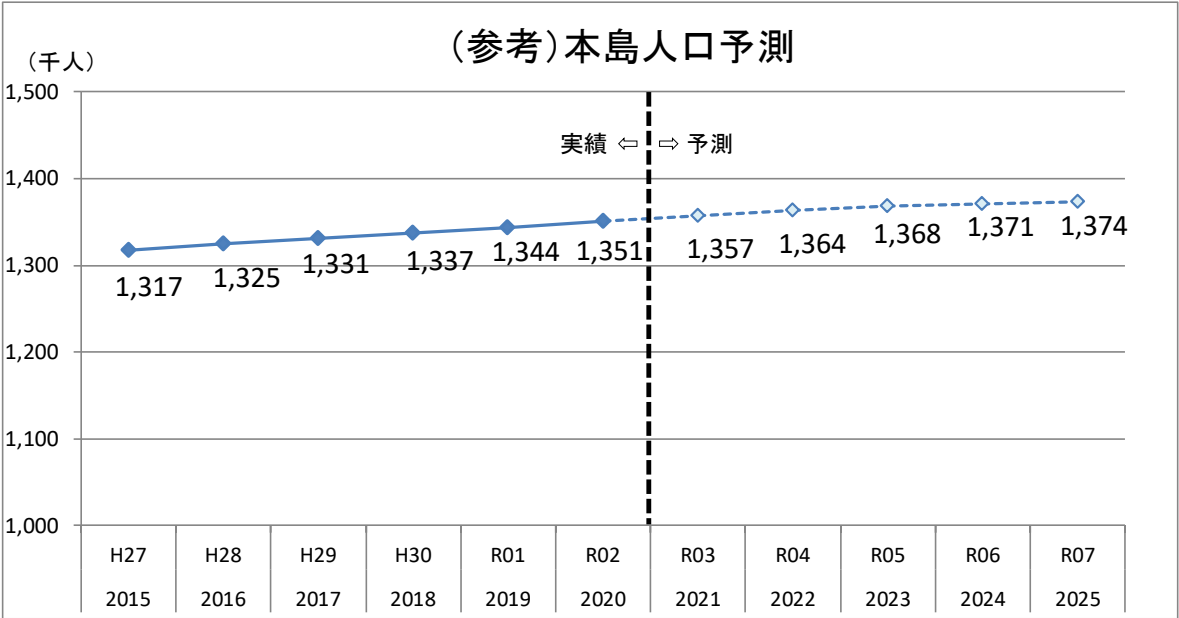
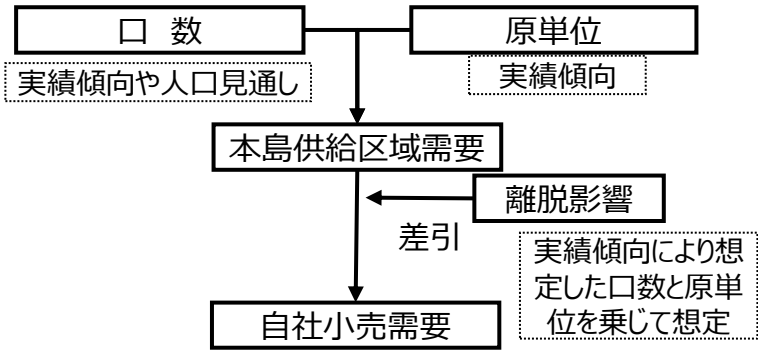
(注) 表内上段は対前年増減率、23-25平均は3年平均増減率。
電力量について、2023年度は366ベース。建設工事用電力、事業用電力を含めない。
端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

3-1. 用途別電力量の想定（電灯）

電灯の想定

- 契約種別に口数と原単位（一口あたりの電力量）を想定し、これら乗じることで本島供給区域需要の電力量を想定。
※口数は、実績傾向や将来人口の見通しも勘案し想定
※原単位は実績傾向により想定
- これから、別途、実績傾向により想定した離脱影響を差し引いて自社小売需要を想定しています。

【電灯の想定フロー】



(千人)

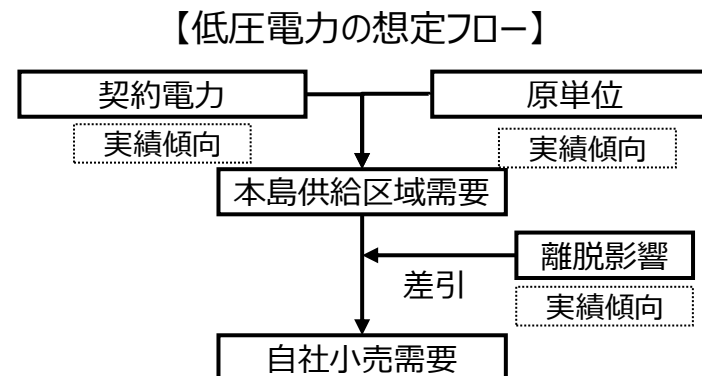
※実績：沖縄県
 ※予測：電力広域的運営推進機関の予測をもとに本島分を推計

3-2. 用途別電力量の想定（電力）

電力の想定

【低圧電力】

- 実績傾向により想定した契約電力と原単位を乗じて本島供給区域需要の電力量を想定。
- これから、別途、実績傾向により想定した離脱影響を差し引いて自社小売需要を想定しています。

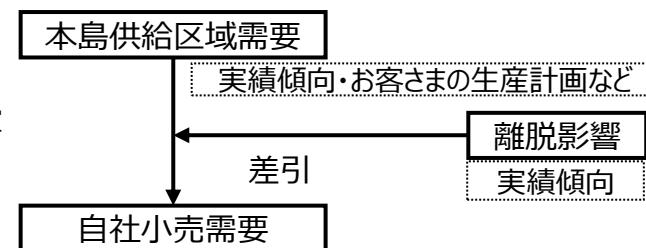


【業務用】

- 業態別に、実績傾向により本島供給区域需要の電力量を想定。
- これから、別途、実績傾向により想定した離脱影響を差し引いて自社小売需要を想定しています。

※業態：①卸小売業、②ホテル・娯楽、③事務所類、④その他（教育、病院など）、⑤駐留軍

【業務用・産業用の想定フロー】



【産業用（高圧A、大口）】

- 高圧Aは、実績傾向により本島供給区域の電力量を想定し、別途、実績傾向により想定した離脱影響を差し引いて自社小売需要を想定しています。
- 大口（高圧B、特高）は、業種別に、実績傾向やアンケートによるお客さまの生産計画などから本島供給区域需要の電力量を想定。これから、別途、実績傾向により想定した離脱影響を差し引いて自社小売需要を想定しています。

【その他】

- 深夜電力、臨時電力、農事用電力別に実績傾向などから電力量を想定しています。新電力への離脱実績はありません。

3-3. 想定結果（需要電力量）

想定結果

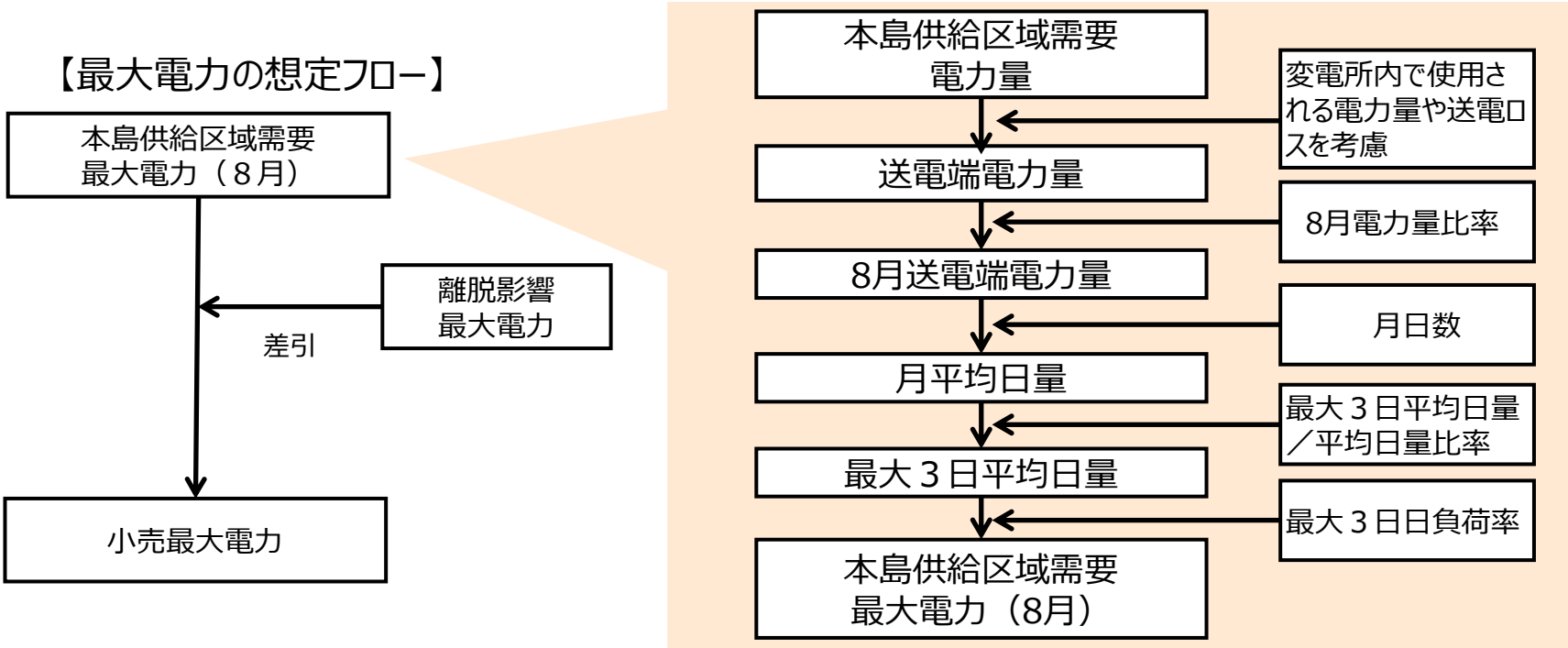
- 電灯は、新規お客さまが増加する一方で、他事業者への契約切り替えによる影響により、横ばいで推移するものと想定しています。
- 電力は、2023年度は新型コロナ影響からの回復による需要の増加が見込まれます。その後は人口や観光客数の増加を背景に商業・宿泊施設の増加や食料品製造業の増加が見込まれるものの、他事業者への契約切り替えによる影響により、減少傾向で推移するものと想定しています。

(百万kWh、%)				
	2023	2024	2025	23-25平均
電灯	▲ 1.7 2,392	▲ 0.1 2,391	0.1 2,393	0.0 2,392
電力	1.1 3,689	▲ 1.1 3,649	▲ 1.0 3,612	▲ 1.0 3,650
計	▲ 0.1 6,081	▲ 0.7 6,040	▲ 0.6 6,005	▲ 0.6 6,042

(注) 表内上段は対前年増減率、23-25平均は3年平均増減率。
2023年度は366ベース。
建設工事用電力、事業用電力は除く。

4. 最大電力の想定

- 最大電力は、本島供給区域需要の電力量をもとに、8月の最大3日平均日量（最大電力が発生する日の日電力量）を算出し、日負荷率により本島供給区域需要の最大電力を想定。
- これから、別途、想定した需要電力量と年負荷率より想定した離脱影響を差し引いて自社小売需要を想定しています。



想定結果（最大電力）

- 電力量の減少に伴い、2023～2025年度は平均増減率で▲0.5%になるものと見込んでいます。

	2023	2024	2025	(千kW、%) 23-25平均
最大電力	▲ 0.3 1,205	▲ 0.4 1,200	▲ 0.6 1,193	▲0.5 1,199

（注）表内上段は対前年増減率、23-25平均は3年平均増減率。
建設工事用電力、事業用電力を含む。

(参考) 新型コロナ影響の想定への反映

【新型コロナ影響】

・新型コロナウイルスの感染拡大により電力需要は主に以下の影響を受けております。特に業務用における宿泊施設や観光施設の需要減が大きいです。影響は徐々に弱まってきております。

[電 灯] : 外出自粛や在宅勤務等の在宅時間増加による需要増
[電 力] : 事業者の休業や営業時間短縮等による需要減

【想定への織り込みについて】

・観光関連産業を中心に新型コロナ影響を受けていることから、IATA（国際航空運送協会）における、世界の航空需要が新型コロナの影響を受ける前の水準に戻る時期について2023年になるとの見通しを参考に、2022年度までは影響を想定に織り込んでおりますが、対象期間においては影響はほぼないものとしております。

(参考)

コロナ影響量の推計値と見通し (百万kWh)

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
電灯	92	67	0	0	0	0
電力	▲ 183	▲ 141	▲ 74	▲ 5	0	0
計	▲ 91	▲ 74	▲ 74	▲ 5	0	0

※2019年度を基準にスマートメーターデータなどより推計

コロナ影響率の推計値と見通し (%)

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
電灯	3.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
電力	▲ 4.0	▲ 3.1	▲ 1.6	▲ 0.1	0.0	0.0
計	▲ 1.2	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 0.1	0.0	0.0

※影響率 = $\frac{\text{コロナ影響量}}{\text{需要電力量} + \text{コロナ影響量}} \times 100$